

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～18℃台を示し、やや低め～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の50%（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり156kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり4.1トンの水揚げで、前週の1.9倍。（前年並み）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり10kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり3kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり642kgの水揚げ。対馬西岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり14kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり120kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり285kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり12kgの水揚げで、前週の67%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/5～2/9の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、山口北東沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延10隻、総計914箱、1航海最高190箱、平均91.4箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-7号 五島灘・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>